

第34号

2022(令和4)年  
6月26日発行

# 明大校友会西東京だより



## 三年ぶりの地域支部総会

小林 太



明治大学校友会 西東京市地域支部総会が5月15日(日)コール田無にて行われました。西東京市内の校友に声を掛けたのですが、さあ、日曜日の朝、どれ位参加者がいるのかと心配しながら設営などの準備を始めました。しかし…総会が始まる頃には31名ほどに！コロナ禍のご時世、座席を一人置き間隔で用意しましたが、席はまあまあ埋まり総会の雰囲気盛り上がってきました。私はこの様な会合をホストとして迎えるのは初めてでしたが、コロナ禍の影響から実際に対面式で総会が開かれるのも三年ぶりとの事。どの役員スタッフにも緊張感が漲っています。開会宣言に続いて濱田支部長の挨拶が始まりましたが、壇上からではなく、一段下がった前列座席前の平面フロアから。会を縁の下から支えると常々口にしていた、いかにも支部長らしい始まり方でありました。議事は活動報告、会計報告と滞りなく進み、原案通り可決承認されました。

さて、西東京市地域支部は、東京都北部支部を形成する七つの地域支部の一翼を担っています。その東京都北部支部の三森支部長も来賓として出席され、お褒めの言葉を頂きました。次回の北部支部総会もここで開催されますからね！(笑)

オカタイ総会も終わり、いよいよ懇親会へ！……と行きたいところでしたが、コロナのご時世、お弁当にお茶といった質素なものに。暫くぶりという方もいらっしゃり、積もる話も…とも言えない程の黙食懇親会状態に…。でも、いいんです！この会場の向こうには自習室！この日も中高生が鉛筆をカリカリ鳴らしながら静かに勉強していました。その中から、未来の明大生が出てくれることを祈っています！

懇親会では水井相談役も挨拶されて、お元気そうで何よりでした。そして三森支部長が音頭をとって校歌の(静かに)斉唱。応援団長だったこともあって、花を添えて下さいました。何らトラブルもなく、成功裏に終わった西東京市地域支部総会・懇親会。6月4日に開催される東京都北部支部総会の成功に自信を付けた一日でした。

## 私の学生時代

菅原英臣（商学部商学科 平成15年卒）



平成15年3月に明治大学商学部商学科を卒業しました、菅原英臣と申します。  
今回私の大学生活を皆様にご紹介しますので、よろしくお願いいたします。

大学時代は「マンドリン倶楽部（これ以降通称の「マンクラ」とします）に所属していました。マンクラでは、当時年間約80回の演奏会を全国各地で行っており、すべてのことを記載すると紙面がなくなってしまうので、その中でも特筆したいことを記載したいと思います。

私は大学に入るまで、エレクトーンやクラシックギターを先生に習っていましたが、大学では何か新しい楽器に挑戦しようと思っていました。また、時間があるときに旅行に行きたいと思っていました。どのサークルに入ろうか迷っていたときに、明治大学を卒業した叔母から「マンドリン倶楽部が有名だよ」と言われ、正直なところ「バイオリンは知っているけどマンドリンは何？」という感じでしたが、練習場を覗いてみることにしました。2年生の先輩から楽器の弾き方を教えてもらったのですが、「旅行好きならマンクラがいいよ。タダで全国各地を旅行できるし、いっぱい美味しいものも食べられるよ。今度静岡で演奏会があるから観にきなよ。」と言われ、朝7時に御茶ノ水に集合という過酷な日程でしたが、観に行くことにしました。

演奏会では、1,000名近くのお客さんが大きな拍手を送っており、先輩方も楽しそうに演奏し（表現は難しいのですが）とても「光って」見えました。これに完全に心を打たれ、自分もこうなりたいと思い、マンクラ入部を決めました。ただ、簡単に入部できるというわけではなく、「合奏生試験」という難関が待ち構えていました。この試験は簡単な課題曲が20曲くらいあり、その中の指定した曲を3曲程度「全部員の前で」弾くというものでした。静寂の中で1年生がいきなりすべての先輩の前で楽器を弾くなんて、信じられませんでした。試験なので落とされるということもあるのですが、時の4年生が優しかったせいか、私の代は全員1回で合格しめでたく入部できましたが、大学4年間で一番緊張したのはこの試験だったと思います。この試験の話聞いて想像できた方もいらっしゃると思いますが、マンクラは活動自体は「文化系」ですが、上下関係が厳しい完全な「体育会系」になります。

マンクラでは4年に1度海外に演奏旅行に行っており、私は2年生のときにアメリカのロサンゼルスに演奏旅行に行きました。1週間程度滞在し、そのうち2日間は演奏会で、残りは観光でした。旅費がどのくらいかかるか心配していましたが、先輩から「パスポートだけ用意すればいいよ。旅費や宿泊費はロサンゼルスの校友会の方が支払うから。」と言われ、ビックリしつつ内心ホッとしました。ヨセミテ国立公園やフィッシャーマンズワープなどいろいろなところを観光でき、それだけでも旅行に行った甲斐があったのですが、1番印象に残っているのが、演奏会でのアンコール曲終了後の「スタンディング・オベーション」でした。アンコール曲終了後、観客の



皆さんが自然と立ち上がり拍手をこちらに送っていただきましたが、日本ではあり得ないことで、演奏側の私も感動し、鳥肌が立ったのを今でも覚えています。このことも人生の中での貴重な経験に挙げることができると思います。

私は4年生のときに主将と指揮を兼務しました。主将は生活面、指揮は音楽面で部を取りまとめる立場になります。私の代は創部80周年の記念の年であり、その年も北は北海道から南は沖縄まで80回以上演奏会を行い、あっという間の1年でした。6月には例年2回実施している定期演奏会がちょうど150回目にあたり、ゲストにペギー葉山さんなどをお迎えして、卒業したOBを含めて100人以上がステージに上がり、盛大に行われました。秋に実施した第151回定期演奏会では、（当時はまだ有名でなかった）夏川りみさんをお迎えして沖縄音楽を特集しました。



この当時私は夏川りみさんのことはまったく知らず、同期の女性部員がゲストとしてどうしても呼びたいという希望があり、ほぼゲストとして決まりかけていた別の人を押し退けてゲストに抜擢しました。演奏会も大成功に終わったのですが、この後もっと嬉しいできごとがありました。それは、年末のTBSで放送されている「輝く！日本レコード大賞」に夏川りみさんのバックバンドとして演奏できたことです。なかなかテレビに出演できる経験はないと思いますが、4年間頑張ってきたマンクラで出演できたことは、本当によかったと思います。

最後になりますが、2022年はマンクラは創部100周年を迎えます。コロナ禍で演奏会を開催することが難しい状況でもありますが、なんとかこの苦境を抜け出し、この後も200年、500年と続いて行ってほしいと願っています。

## 六年ぶりの優勝

栗田孝行 六大学野球観戦同好会（写真は5.21は神宮球場）

第7週の立教戦は最終戦であり、勝ち点を取った方が優勝となる天王山で、応援団が内野スタンドに戻ってきた。雨が降る中、女性団長の中藤有里団長以下 内野席前方“定位置”で選手へ声援を送った。途中、雨が強くなり試合は一時中断となるも、応援リーダー席だけは空けないうで「俺が守り抜く」という意気込みを示していた。

試合は、明治エース蒔田（九州学院）と立教は荘司（新潟明訓・ドラフト注目投手）の投手戦で両校ともに7回まで無得点という緊迫感の中で進んできた。しかし、8回にリリーフ高山が打たれ、立教に3点先行されると「ついにこれまでか・・・」と若干の諦めムードが漂う中、8回に長南の適時打で1点返し、9回には堀内、西山の適時打でついに同点に追いついた（気分は最高潮）。その後、延長12回に規定により引き分けとなった。結果的に、この引き分けに追いついたことが転機となり、以後の試合の流れを変え、第2・3試合を連勝し、6シーズンぶり41回目の優勝を決めた。



他の試合の結果等、熱血漢戦記の続きはホームページで！

## その他のニュース

- \* お弁当・飲み物持参の「**いこいの森公園昼食会**」は毎月 月末の日曜日に開催。管理棟前に12時集合。時間のある方は随時ご参加下さい。(問合せ先:伊藤和明 042-467-0847)
- \* ズームを使った**リモート発表会(仮称)**は7月から毎月下旬の土曜日 19.30 から。初回は7月23日(土)19.30~20.10。題材等はメールアドレスを開示された会員にメール連絡致します。(問合せ先:濱田 豊 042-421-3888)
- \* 毎週月曜日 13.00~16.00、**健康麻雀会(賭けない・飲まない・吸わない)**が谷戸のコスモひばりが丘で開かれています。会費 100 円。紫紺会の会員も参加していますので、気軽にご参加下さい。(問合せ先:富永雄二 090-8508-1508)
- \* **地域社会貢献の一環**として、子供食堂「陽気なキッチン」(校友の平野氏が中心になって、天理教田無分教会内で実施 042-461-0363)へ夏の花火支援のため、会として寄付を実施。食材等の支援は随時受付しています。西東京市社会福祉法人連絡会の「フードライブ」でも、子供食堂や食支援を必要とする方のための食品寄付を募っています(042-497-5180)。7月7~21日受付。
- \* 三年後の西東京市地域支部**設立 20 周年記念事業**のため準備委員会を立ち上げました。
- \* 役員委員会議は、毎月の日曜日 9.30~11.00 コール田無の会議室で開かれています。風通しの良いオープンな打合せ会ですので、ご自由に参加してみてください。きっと仲間に会えるでしょう。
- \* 2022 年度の委員会委員、地域の世話役委員、**年間行事予定が若干変更**になりました。ホームページの「明大校友会西東京とは」の中に掲載されていますので、是非ご確認ください。



## 編集後記



屋外でのノーマスクが推奨される等やっと「なんでも自粛」の日々は終わったようです。夏の住処である長野県の諏訪では先週あたりから県外ナンバーの車を多数見かけます。皆さん待ちに待った旅行を楽しんでおられるようです。注意と警戒を怠らずに仲間との飲食や家族との旅行などされてはいかがでしょう。総会もかなり自粛ムードでしたが(当然ですが)、来年からは大きな声で校歌を歌いたいと思います。前号より、明大校友会西東京市地域支部の Web ページの QR コードを添付しました。是非、スマホのカメラで読み取ってアクセスしてみてください。(中村)



発行 : 明治大学校友会 西東京市地域支部

事務局 : 西東京市泉町 5-16-19-602(濱田様方) Tel.042-421-3888

編集 広報委員会 : 中村俊信・木村美栄子・小林 太・柳沢 薫

<http://www.meiji-ntk.com/index.html>

